

開催のお知らせ

令和7年度大豆生産振興フォーラム

1. 開催の趣旨

◆実需者から求められる収量・品質をしっかりと確保するため、湿害・干ばつ対策の徹底や病害虫・雑草の適期防除の実践するなど栽培管理技術の向上を図る必要があります。また、国では多収性大豆「そらシリーズ」について普及拡大を図っており、当フォーラムにおいても情報提供を行います。

2. 内容

(1) 講演

- ・気候変動に対応した大豆栽培について
農業技術振興センター 片山 寿人 様
- ・多収性大豆「そら」シリーズの育成について
西日本農業研究センター 高田 吉丈 様

(2) パネルディスカッション

【主な登壇者】

- 京都大学名誉教授 白岩 立彦 様
- 西日本農業研究センター 高田 吉丈 様
- 県内大豆優良農家 他

※内容は都合により変更となる場合があります。

日時：**令和7年8月1日（金）**
14:00～16:30

（受付・開場は13時30分から）

場所：**長浜文化芸術会館 大ホール**
（長浜市大島町37番地）

※お車で来られる場合、**豊公園駐車場をご利用ください**。駐車券をお持ちいただければフォーラム参加者に限り無料です。

対象：県内農業者および関係者等

定員：300名（先着順）

参加費：無料

主催：近江米振興協会

3. 問い合わせ先

近江米振興協会事務局 TEL. 077-523-3920
もしくは近江米振興協会の各支部（県農業農村振興事務所農産普及課）まで

4. 申込方法

下記の「参加申込書」により、各JAまたは滋賀県主食集荷商業協同組合会員の集荷業者へFAX等でお申し込みください。（令和7年7月25日（金）締切です）

この用紙のままでFAXしてください

参加申込書

住所	市・町	JAまたは 集荷業者名	
代表者の 緊急連絡先			
氏名		氏名	
氏名		氏名	

各JAまたは滋賀県主食集荷商業協同組合会員の集荷業者へ提出してください。なお、個人情報につきましては、フォーラムの利用目的以外では利用いたしません。

大豆の単収向上に向けたポイント

減収の要因は農業者やほ場によって違います。
それぞれに合った対策に取り組みましょう！



大豆栽培のポイント！

項目	主なポイント
土づくり	<ul style="list-style-type: none">□ 有機物の施用などの土づくり対策を実践しましょう。□ 前作の麦稈は焼却せず全量をすき込みましょう。□ 苦土石灰を施用しましょう。
排水対策	<ul style="list-style-type: none">□ 水稻-麦-大豆の輪作体系を通じた対策を心掛けるとともに、ほ場の土壌や立地条件に応じた排水対策を考えましょう。
湿害・干ばつ対策	<ul style="list-style-type: none">□ 本暗きよのあるほ場では、梅雨明け前後の暗きよ栓の開け閉めにより地下水位をコントロールし、適正な土壌水分を確保しましょう。□ 干ばつ時のかん水の判断の目安 ①開花期から子実肥大期にかけて10日間程度降雨が無い場合 ②日中に葉の反転が50%以上見られる場合
虫害対策	<ul style="list-style-type: none">□ 計画されている防除を確実に実施しましょう。□ 発生予察情報やほ場での発生状況に注意し、必要に応じて追加防除を実施しましょう。

農作業中の熱中症に注意しましょう！



令和6年度の夏季(5～9月)において、田畑等で農作業中に熱中症によって救急搬送された人数は、全国で2,322人と直近5年で最多となっています。農作業の際には、しっかりと熱中症対策を実施しましょう。

熱中症の主な症状

汗をかかない、体が熱い、立ちくらみ、吐き気、頭痛、脱力感、判断力の低下など

熱中症の対策

- ✓ 農作業中の体温上昇を抑制するため、作業を始める直前に冷たい飲み物や冷やしたタオルで身体を冷やしましょう！
- ✓ のどが渴いていなくても、20分おきに毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう。

